

北海道新幹線、羊蹄トンネル（比羅夫）工区における地表面の陥没発生について

羊蹄トンネル（比羅夫）工区では、巨大な岩塊の出現によりトンネル掘削を停止しておりますが、掘削停止位置直上の地表面において、縦約5m、横約5m、深さ約5m程度の陥没を確認しましたので、お知らせします。

令和4年2月8日付「北海道新幹線、羊蹄トンネル（比羅夫）工区の工事状況について」にて、羊蹄トンネル（比羅夫）工区において巨大な岩塊の出現によりトンネル掘削を停止したことから、岩塊除去に向けた対策工法を策定し、令和4年3月上旬から工事を実施することについてお知らせしました。

掘削停止後、地表面の監視を実施していましたが、掘削停止位置直上の地表面（倶知安町の河川用地）において、縦約5m、横約5m、深さ約5m程度の陥没を確認したことをお知らせします。なお、この陥没によるけが人等は発生しておらず、現在のところ陥没は拡大しておりません。

また、陥没部周辺の安全を確保するため、地上部は関係者以外の立入を禁止しております。

現在、陥没の発生原因の調査を進めており、併せて復旧方法についても検討してまいります。

地域及び関係者の皆様にご心配をおかけすること、お詫び申し上げます。

記

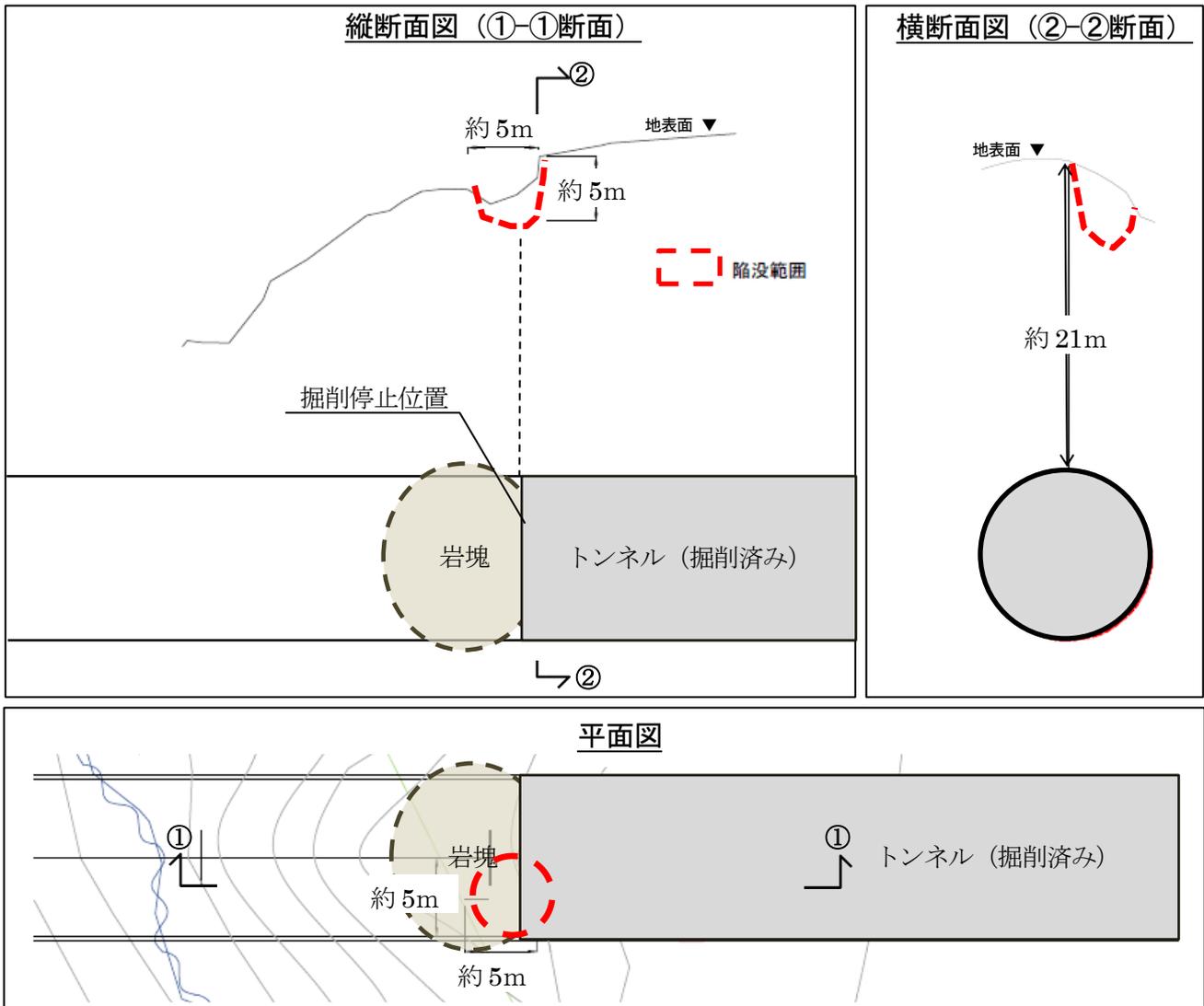
1. 事象確認日時：令和4年4月13日（水）午後5時30分頃
2. 場 所：北海道倶知安町字比羅夫
(札幌方のトンネル坑口から約3.5kmの地点)
3. 現地の状況：
 - ・縦約5m、横約5m、深さ約5m程度の陥没の確認以降、現時点で陥没は拡大しておりません。地表面の監視を継続してまいります。
 - ・トンネル坑内に異常はありません。トンネル坑内の監視を継続してまいります。

4 経緯：

- ・ 2021.7 岩塊の出現により掘削停止（地上への影響なし）
 ※掘削停止後、地表面の監視を開始
- ・ 2021.8 調査の結果、掘削停止位置の前方に10mを超える規模の巨大な岩塊が出現したことが原因と判明
- ・ 2022.1 岩塊除去に向けた対策工法の策定
- ・ 2022.3 掘削停止位置後方より岩塊除去に向けた工事の着手
- ・ 2022.4 掘削停止位置直上の地表面において陥没を確認

<本件に関するお問合せ先>

北海道新幹線建設局 広報・渉外課 TEL 011-231-3456



現地の状況写真 (2022年4月13日時点)

